

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
(第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会)

守山市開催基本方針

令和5年5月15日

The Garden City

つなぐ、守山

守山市が開催する「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」では、
競技力の向上や競技人口の拡大の契機とするとともに、
全ての市民がスポーツへの関心を高め、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、

「誰もが」「どこでも」「いつまでも」

運動やスポーツに親しむことができる「健康元気なまち」に寄与する大会とします。



「誰もが」「どこでも」「いつまでも」
～ Come together! ～

未来へつなぐ
～ Join together! ～

また、地域の多様な主体との協働・連携による大会運営を通じて、
これまでにない新しい視点を取り入れた取組を推進し、
全市民で喜びと感動を分かち合う記憶に残る大会にするとともに、
大会で生まれた多様なつながりをレガシーとして未来に遺すことで、
本市が目指す 「豊かな田園都市 守山」 の実現を目指します。

開催基本方針を実現するための6つの柱

ダイバーシティー 多様性を尊重した大会運営

- 来場者一人ひとりの多様性を理解し、様々な視点を活かした心に残る「おもてなし」
- 年齢・性別・障害の有無・国籍等を問わない、多様なスポーツへの関わり方を検討



サステナブル スポーツ×SDGsの取組

- サステナブル(持続可能)なスポーツ大会運営
- 地域課題解決に取り組む企業・団体との連携
- 環境に優しい大会運営の取組等を通じて、より良い社会づくりを意識できる大会



協働・連携 多様な主体との協働・連携推進

- 市民参加の高揚を図り、市民総参加の大会
- 市民や各種団体、企業等の知恵と工夫を結集
- 大会を支える多様なボランティア活動体制
- 大会後を見据えた様々な分野とのコラボレーション



自治体DX ICT×人による大会運営のスマート化

- ICTを活用した取組と、人による柔軟さと温かみのある取組を効果的に組み合わせた大会運営
- 「デジタルディバイド(情報格差)」に配慮した、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」



健康増進アプリ「ビワテク」



魅力発信 守山とスポーツの魅力を効果的に発信

- 守山ポータルや風光明媚な景観、多様な特産物など守山が持つ多彩な魅力を全国に発信
- 大会関連情報から他のスポーツ関連情報まで創意工夫を凝らした情報伝達手法を検討



次世代育成 将来のアスリート育成とシビックプライド

- 子どもたちがスポーツに慣れ親しむ環境づくり
- 将来のアスリート育成につながる取組の推進
- 大会を通じて守山に「誇りと愛着(シビックプライド)」を持つことができる取組の推進



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 守山市基本計画

令和5年5月15日

当基本計画は、「守山市開催基本方針」に基づき各分野の基本的な方針を定めたものです。

市民協働基本計画	・・・5	競技運営・式典・施設整備基本計画	・・・8
歓迎・おもてなし基本計画	・・・6	宿泊・医事・衛生基本計画	・・・9
広報・啓発基本計画	・・・7	輸送交通・警備・消防防災基本計画	・・・9

The Garden City

つなぐ、守山

市民協働基本計画

目的

- 市民一人ひとり、地域・団体・企業等が大会の開催意義を理解し、それぞれの立場で積極的に参加する機運を醸成。
- 市民総参加のもと一丸となって大会を盛り上げていくことにより、大会終了後も地域コミュニティの醸成や地域の活性化を推進。

ダイバーシティ

- ◆ 年齢・性別・障害の有無等の様々な立場にある市民が混ざり合っ大会を作り上げる仕組みづくり・ボランティア募集
- ◆ 多様な意見を大会運営に反映

協働・連携

- ◆ 地域課題解決に向けて活動している企業や団体等との積極的なコラボレーションの取組
- ◆ 大会を盛り上げる企業協賛

魅力発信

- ◆ SNS等を通じて大会運営に参加したくなる魅力を発信
- ◆ 実施した協働・連携事業内容を様々な情報媒体で積極的に発信

サステナブル

- ◆ 大会で生まれた新たなつながりを持続可能な地域コミュニティの醸成に活かす取組

自治体DX

- ◆ 官民連携等による、大会運営に係るICT活用手法を検討

次世代育成

- ◆ 子どもたちを含む若い世代が、大会の取組を通じて地域に「誇りと愛着（シビックプライド）」を持つためのきっかけづくり



R4.12月
39歳以下の市民を対象とした「もりやま未来ミーティング」開催により、大会運営に係る市民同士の意見交換を実施。

※一部の栃木国体関係の写真は「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 宇都宮市大会報告書」より抜粋

歓迎・おもてなし基本計画

目的

- 選手・監督をはじめ、守山市を訪れる全ての方々を温かくお迎えするとともに、守山市の多彩な魅力を紹介し、守山市のファンになっていただくように心のこもったおもてなし。
- 年齢・性別・障害の有無・国籍・文化・ライフスタイル等を問わず、誰でも大会を楽しむことができる多様性を尊重した「ダイバーシティ」のおもてなしの取組。

ダイバーシティ

- ◆ やさしい日本語、ピクトグラム等のユニバーサルデザインを考慮したおもてなし会場
- ◆ 年齢・性別・障害の有無・国籍を問わず楽しむことができる取組

協働・連携

- ◆ 自治会や地域の団体等による歓迎・おもてなし
- ◆ 体験コーナーや売店等における官民連携の取組

魅力発信

- ◆ 「行きたくなる会場」として楽しめる工夫
- ◆ スポーツと他分野のコラボによる魅力的な取組
- ◆ 来訪者が市内のスポット（施設・店舗等）を楽しむことができる取組

サステナブル

- ◆ 選手・観客等、会場を訪れる人たちの環境保全意識を高めることができるおもてなし会場

自治体DX

- ◆ コロナ禍を経験したからこそ、人と人の温かみのある交流の取組とICTの組み合わせによるおもてなし

次世代育成

- ◆ 学校応援や応援のぼり旗等による、おもてなしを通じたアスリートと子どもたちがつながる取組



守山市は、東京2020オリンピック・パラリンピックで、トルコ共和国のホストタウン

※一部の栃木国体関係の写真は「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 宇都宮市大会報告書」より抜粋

広報・啓発基本計画

目的

- 大会に対する市民の関心や参加意欲を高めるため、情報を届けるターゲット層に応じた効果的な広報活動を積極的に展開。
- 参加した選手をはじめ、大会に関わった人々や市内外からの観客等を通じて、守山の豊かな自然や観光、文化など多彩な魅力を全国に発信。

ダイバーシティ

- ◆ 市広報紙・市HP・SNS等をターゲットに応じて効果的に使い分けた多様な手法の広報・啓発

協働・連携

- ◆ インフルエンサーや企業・団体等と協力した情報発信
- ◆ 新規で企画する啓発イベントの開催と市内既存イベントとのコラボレーション

魅力発信

- ◆ 人気があるマスコットキャラクター、もーりー・キャッフィー・チャッフィー等の有効活用
- ◆ 風光明媚な景観、豊かな自然環境、快適な住環境、守山の特産物等の守山の魅力を市内外へPR

サステナブル

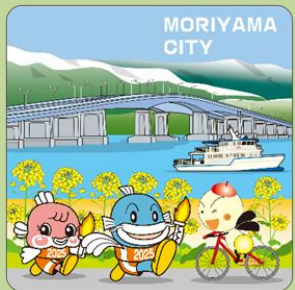
- ◆ 自然環境に配慮した啓発グッズ
- ◆ 気軽な気持ちでスポーツや運動を「体験する・始める」ことができるイベント等

自治体DX

- ◆ 新庁舎のデジタルサイネージ活用等、ICTを駆使した情報発信

次世代育成

- ◆ 学校や園と協力する等、子どもたちやその親に対して効果的に大会情報を伝達する手法の検討
- ◆ 子育て世代が魅力的に感じる広報・啓発の検討



R5.2月
ピエリ守山にて、新体カテスト等家族で楽しめる「ピエリ体育祭」を開催

※一部の栃木国体関係の写真は「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 宇都宮市大会報告書」より抜粋

競技運営・式典・施設整備基本計画

目的

- 本大会・リハ大会において関係団体・関係機関と緊密に連携し、効率的な競技運営。
- 本市で開催する式典（炬火イベント・表彰式等）については、本市の特色を活かした創意工夫のあるイベントとして実施。
- 既存施設の有効活用を図るとともに、大会終了後の市民利用を視野に入れた施設整備。

ダイバーシティ

◆ 年齢や障害の有無を問わず、誰もが安心して利用できる競技施設整備

協働・連携

◆ 選手の力が十分に発揮できる大会とするため、競技団体・共催市との緊密な連携

魅力発信

- ◆ 多様な意見を取り入れて、市民とともに作り上げる記憶に残る炬火イベント
- ◆ 守山産の記念品等で盛り上げる表彰式

サステナブル

◆ 大会のレガシーとして将来のスポーツ振興に寄与することを前提とした無駄の無い施設整備

自治体DX

◆ 適切な人員配置とICT活用等、業務手法の工夫による無駄のない競技運営

次世代育成

◆ 子どもたちが積極的に関わることで、いつまでも記憶に残る競技会と式典



※栃木国体関係の写真は「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 宇都宮市大会報告書」より抜粋

目的

- 本市を訪れる全ての人々が、最良のコンディションで大会に臨むことができるよう、食品衛生・環境衛生に配慮するとともに、県下合同配宿方式による広域的な宿泊地の確保や医療救護体制を確立。
- 大会に関わる輸送交通については、本市の交通事情を勘案し、交通事業者や各関係機関との連携により、交通渋滞の緩和や環境への配慮も含めた安全安心な体制を確立。
- 治安確保や災害防止、緊急対応等について万全を期するため、関係機関と緊密な連携をしながら、警備・消防防災体制を確立。

ダイバーシティ

- ◆ 来場者数を正確に想定した上での輸送方法や駐車場の確保
- ◆ パークアンドライド等環境面に配慮した手法の検討
- ◆ 障害者や高齢者等の移動手段への対応

協働・連携

- ◆ 会場の救護所設置と医療機関との連携、様々なケースを想定した警備・消防防災体制の構築等

魅力発信

- ◆ 地元の特色のある食事・弁当、守山の魅力をPRする弁当箱等

サステナブル

- ◆ 会場で提供する食品の衛生管理と清掃業務や適切なおみ処理による環境衛生管理

自治体DX

- ◆ 弁当調達システムの委託等、ICTを使った効率的な運営

次世代育成

- ◆ 家族で参加する競技会場周辺におけるクリーンアップ運動等により、子どもたちも「きれいなまちづくり」を体感



「スポGOMI大会inとちぎ」制限時間内でチームワークでごみを拾い、ごみの量と種類でポイントを競い合うイベント。
※写真は栃木県HPより

※一部の栃木国体関係の写真は「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 宇都宮市大会報告書」より抜粋